

● 草の根パートナー型

平成15年度第1回 採択内定案件

<b>I. 提案事業の概要</b>	
1. 国名	ウズベキスタン
2. 事業名	タシケント市におけるハイリスクグループと若者に対するHIV/AIDS予防対策事業
3. 事業の背景と必要性	ウズベキスタンの2002年新規HIV感染者数は、前年と比較して6倍の勢いで拡大しており、UNAIDSでは2万人を超えるHIV感染者がいると推定している。感染者の73%はタシケント市及びその郊外に分布しており、53%はヘロイン等の静注薬物濫用者である。性風俗産業従事者、囚人、男性間同性愛者の間でも感染が増えている。最近では、麻薬とコンドーム無しのセックスが若者文化となっており、特殊なグループの問題であったHIV/AIDSが一般人口に広がる兆候を見せている。2003年5月、ウズベキスタン政府の3カ年HIV/AIDS対策戦略では、早急に効果的な対策を行うことにより、国全体への感染拡大を水際で防ぎ、国民の健康と経済を守ることが強く打ち出されている。
4. 事業の目的	タシケント市のハイリスクグループと青年男女に対し、HIV予防教育を推進することにより、HIV感染につながるハイリスク行動を減少するよう行動変容を促進し、タシケント市における新規HIV感染率の減少に貢献する。
5. 対象地域	タシケント市
6. 受益者層	静注薬物濫用者87,500人、性風俗産業で働く人々5,000人、男性間同性愛者46,000人、囚人5,000人のハイリスクグループと、青年男女625,000人、計763,500人。
7. 活動及び期待される成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>タシケント市のトラスト・ポイント※10ヶ所のネットワークが構築され、プロジェクト運営監視能力が向上する。</li> <li>トラスト・ポイントの活動を通して、ハイリスクグループの40%の人々が危険な行動様式を変え、VCT（HIV抗体検査やカウンセリングを行う施設）や性病クリニックなどで適切な医療サービスを受けられるようになり、ピアエデュケーションによるカウンセリングを受けられるようになる。また、ハイリスクグループの80%の人々が、安全な行動のための情報が入手できるようになり、使い捨て注射器・針やコンドームなどのHIV感染予防のための物品を、それぞれ70%、65%ほど入手できるようになる。</li> <li>効果的なIEC教材（HIV予防啓発教材）が配布され、若者の65%が具体的なHIV感染予防のライフスキルを身につけるようになる。</li> <li>HIV感染者・AIDS患者やコミュニティがHIV/AIDSや薬物に関する現状を、ウズベキスタン政府の関係各所の各レベルに対して進言し、より効果的なHIV/AIDS、性感染症、薬物濫用対策に関する活動が実施されるようになる。</li> </ul> <p>※トラスト・ポイントとは、保健省国家エイズ対策センターの施設で、静注薬物濫用者や性風俗産業従事者等を含む一般の人々に対して、匿名で、HIV予防情報提供、検査・医療機関紹介、注射器交換、コンドーム配布、カウンセリング、性病診療などを行う施設。</p>
8. 実施期間	2004年1月～2005年12月（2年間）
9. 事業費	第一年度契約金額：7,385千円（精算金額：7,385千円） 第二年度契約金額：23,936千円（精算金額：23,935千円） 第三年度契約金額：18,677千円
10. 事業の実施体制	現地駐在日本人プロジェクト・マネージャーの下に、5名のプロジェクトスタッフを配置（内、医者2名、PR専門家、Web/ネットワーク専門家、財務管理専門家）する。10のトラスト・ポイントには、心理療法士やソーシャルワーカー等（準）医療専門家のTP統括責任者を置き、各TP毎に5名のボランティアを育成する。また、3人の医療専門家（性病、婦人科、精神科）を置き、カウンセリング・診療を行う。
<b>II. 実施団体の概要</b>	
1. 団体名	特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン
2. 活動内容	開発途上国において、貧しく抑圧された人々の生活に変革をもたらすために、開発援助・緊急援助を行う。2002年度実績、25カ国62事業、プロジェクト費総額13億3,990億円。
3. 対象国との関係、協力実績	2001年アフガニスタン紛争の緊急援助バックアップオフィスとして、ウズベキスタンでの活動を開始する。2002年11月からウズベキスタン国内におけるニーズアセスメント、ウズベキスタン政府や援助機関等とのネットワーク構築、本提案事業のプロジェクト形成ミッションを派遣し、本提案事業の立案に至る。現在、平行して障害児寄宿学校建築事業の計画の中。